

イー・アクセス株式会社 【9427】

2009年3月期第3四半期(累計)決算説明資料
(2008年4月 ~ 2008年12月)



2009年2月12日

I. 2009年3月期第3四半期(累計)決算の総括 3 ページ

II. イー・アクセス/子会社アッカ・ネットワークス 5 ページ

➤ 決算の詳細 6 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

III. イー・モバイル 21 ページ

➤ 決算の詳細 22 ページ

➤ 事業の状況 25 ページ

IV. Appendix 30 ページ

I. 2009年3月期第3四半期(累計)決算の総括

3 ページ

II. イー・アクセス/子会社アッカ・ネットワークス

5 ページ

➤ 決算の詳細

6 ページ

➤ 事業の状況

18 ページ

III. イー・モバイル

21 ページ

➤ 決算の詳細

22 ページ

➤ 事業の状況

25 ページ

IV. Appendix

30 ページ

決算

- 連結売上高及び営業利益は過去最高
- 3Qの四半期連結経常利益は2年ぶりに黒字化

イー・アクセス/ アッカ・ ネットワークス (連結子会社)

- 3Qの単体ADSL解約率は1.69%で前年同期比0.1ポイント下回る
- 統合が順調に進み、アッカの通期業績は予想を上回る
- 完全な経営統合によるシナジー最大化を目指し6月末に合併予定

イー・モバイル (持分法適用 関連会社)

- 3Q純増数は30.8万で過去最高。純増シェアは業界No.2を記録
- ネットブックとのセット販売が好調で新たな顧客層を開拓
- 2009年3月よりソフトバンクモバイル社と高速モバイルデータ通信サービスで協業開始予定

I. 2009年3月期第3四半期(累計)決算の総括 3 ページ

II. イー・アクセス/子会社アッカ・ネットワークス 5 ページ

➤ 決算の詳細 6 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

III. イー・モバイル 21 ページ

➤ 決算の詳細 22 ページ

➤ 事業の状況 25 ページ

IV. Appendix 30 ページ

2009年3月期第3四半期(累計)連結実績

連結営業利益は前年同期比3倍強増加
 イー・モバイルの持分法損失を吸収しつつも、連結経常損失は前年同期の半分以下に縮小

	2008年3月期		2009年3月期		
	第3四半期 (累計) (4~12/2007)	第3四半期 (累計) (4~12/2008)	前年同期比	通期予想	進捗率
(単位:億円)					
売上高	452.8	704.1	+ 55.5%	950.0	74.1%
営業利益 ^{*3}	36.5	121.9	+ 234.0%	138.0	88.3%
経常利益(損失) ^{*3}	△56.9	△25.7	na	△50.0	na
当期純利益(損失) ^{*1 *2 *3}	△25.8	△78.5	na	△98.0	na
EBITDA	102.6	174.4	+ 70.0%	228.0	76.5%
設備投資額	120.5	35.5	△ 70.5%	60.0	59.2%
減価償却額 ^{*3}	66.1	52.5	△20.5%	90.0	58.3%

*1 当期純利益に少数株主損失25.8億円(2008年3月期)、少数株主損失0.5億円(2009年3月期)の控除を含む。

*2 2008年3月期第1四半期の当期純利益にイー・モバイル株式売却益の46.4億円を含む。

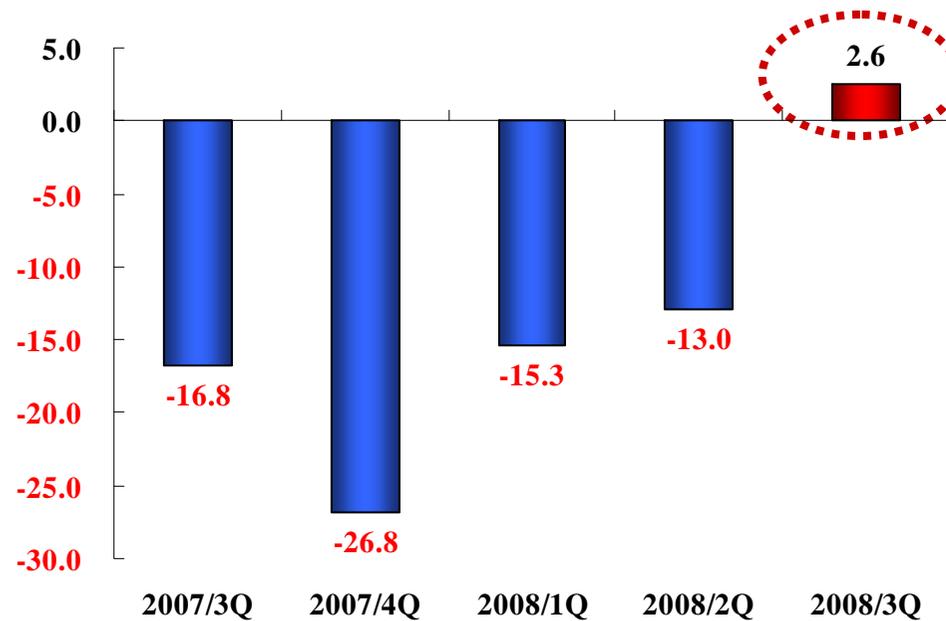
*3 アッカとの統合により、設備の状況や環境の変化等に伴い利用可能予測期間を調査した結果、2008年9月より機械設備の耐用年数を従来の3~5年から6年に変更。

連結経常損益の推移

3Q連結経常利益は黒字化達成
イー・モバイルの四半期持分法損失幅の縮小により、連結四半期経常損益は着実に回復

連結 四半期経常損益推移

(単位:億円)



2年ぶりに
黒字化

連結業績見通し (2年)に向けた進捗

2009年3月期は、連結営業利益の大幅増加予想
2010年3月期は3年ぶりに連結経常利益及び当期純利益の黒字化を見込む

(単位:億円)	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (予想)	2010年3月期 (予想)
売上高	675.6	950.0	1,030.0
営業利益	70.9	138.0	150.0
経常利益(損失)	△83.7	△50.0	80.0
当期純利益(損失)	△63.5	△98.0	25.0
EBITDA	153.8	228.0	240.0
設備投資額	142.5	60.0	40.0
減価償却費	82.8	90.0	90.0

予想に向けての
進捗状況

• アッカ統合
シナジー効果
の**早期実現**

• イー・モバイルの業績は加入者増に伴い
着実に改善

来期の連結当期純利益黒字化に向けて
順調に進捗

• アッカ社は9/1/2008より連結対象。

2009年3月期第3四半期(累計)連結キャッシュフロー推移

第3四半期累計純フリーキャッシュフローは大幅に改善
来期に向けて純フリーキャッシュフローは更に拡大する見込み

	2009年3月期 (実績)	2009年3月期 (予想)	2010年3月期 (予想)
(単位:億円)	3Q(累計) (4~12/2008)	通期予想 *1	通期予想 *1
EBITDA	174.4	228.0	240.0
設備投資額	35.5	60.0	40.0
営業フリーキャッシュフロー	138.9	168.0	200.0
支払利息	13.5	21.0	22.0
税金	42.0	48.0	44.0
配当金 *2 *3	25.3	34.0	34.0
純フリーキャッシュフロー	58.2	65.0	100.0

*1 2009年3月期及び2010年3月通期予想は期現時点での予測に基づく

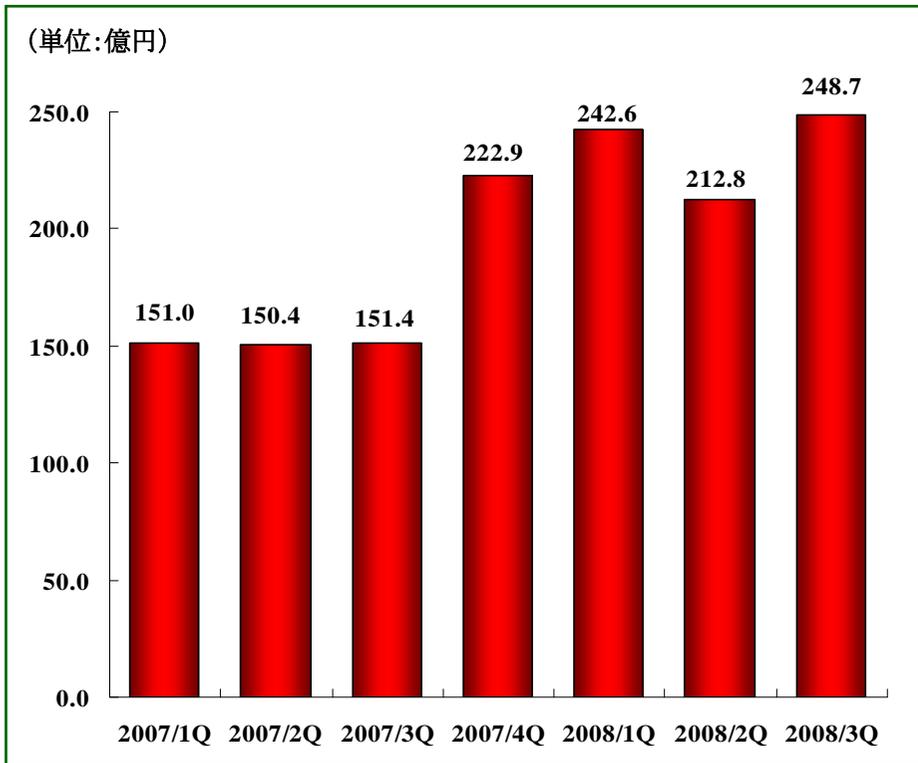
*2 通期予想での配当金額は現時点での配当政策に基づく

*3 2010年3月期の配当金額の算出はイー・アクセス及びアッカの合併を前提としている

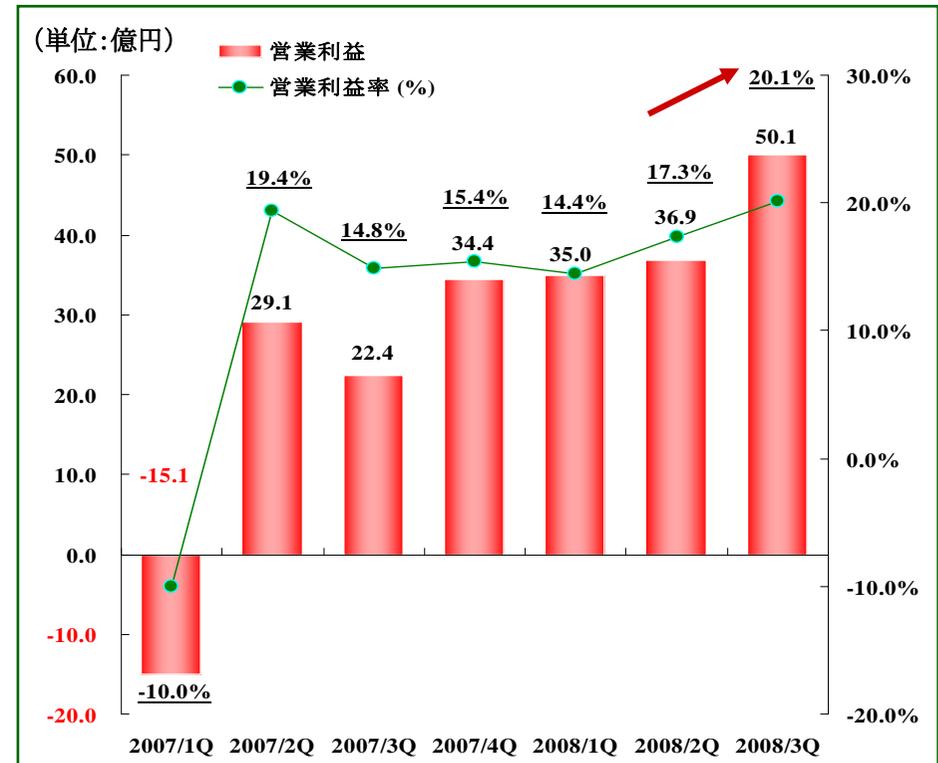
連結売上高及び営業利益/営業利益率の推移

3Q累計及び3Qの四半期連結売上高及び営業利益は過去最高
3Qの連結営業利益率は20.1%に改善

売上高の推移(連結)



営業利益/営業利益率の推移(連結)

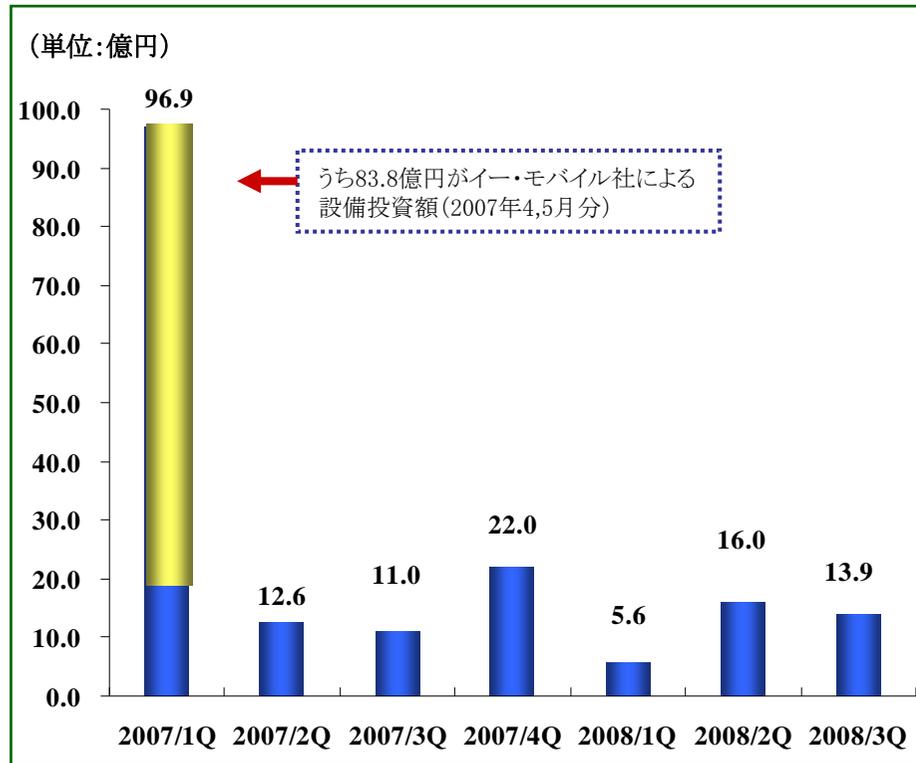


注: イー・モバイルは5/31/2007に持分法適用関連会社に異動。連結では2007/1Qに2ヶ月分のイー・モバイル財務実績が含まれている。
アッカ社は9/1/2008より連結対象。連結では2008/2Qに1ヶ月分、2008/3Qに3ヶ月分のアッカ財務実績が含まれている。

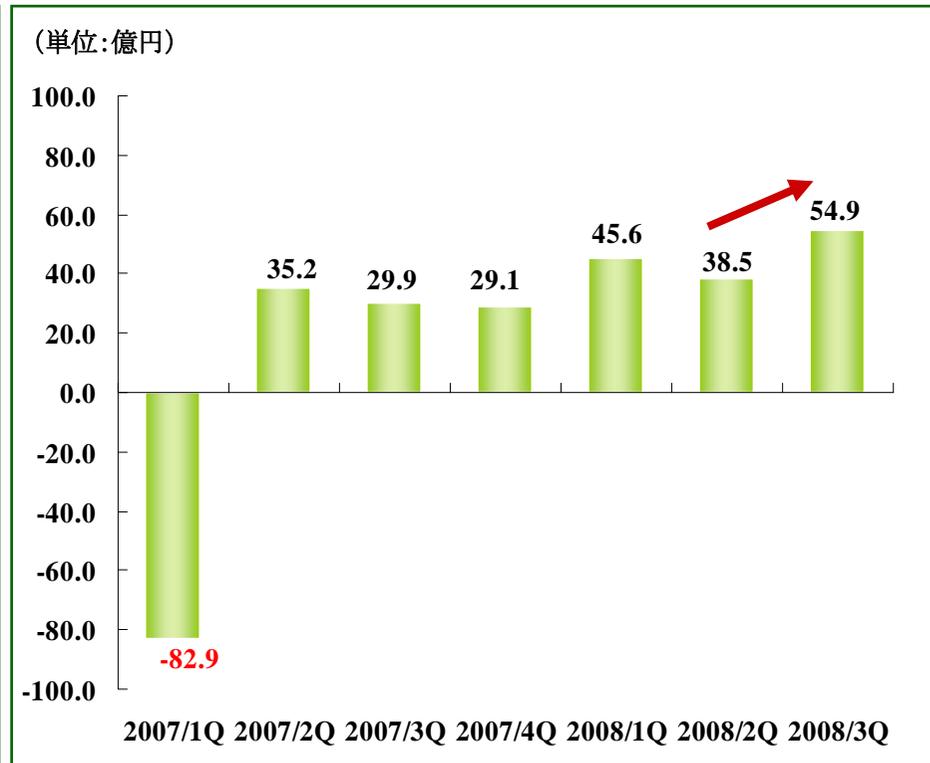
連結設備投資と営業フリーキャッシュフローの推移

アッカとの統合シナジーにより、連結営業キャッシュフローは着実に増加

連結設備投資の推移



連結営業フリーキャッシュフローの推移



* 営業フリーキャッシュフロー = EBITDA - 設備投資

注: イー・モバイルは5/31/2007に持分法適用関連会社に異動。連結では2007/1Qに2ヶ月分のイー・モバイル財務実績が含まれている。
アッカ社は9/1/2008より連結対象。連結では2008/2Qに1ヶ月分、2008/3Qに3ヶ月分のアッカ財務実績が含まれている。

連結バランスシートの状況

12月末時点で手元流動性を十分に確保
12月に希薄化の生じない社債型優先株25億円を発行し、連結株主資本を増強

(単位:億円)	2008年12月末		2008年3月末	
	連結*	単体	連結	単体
現金及び現金同等物	685.4	564.7	476.2	468.4
有利子負債	1,073.9	1,048.2	845.1	845.1
純有利子負債	388.4	483.4	368.9	376.7
株主資本	127.8	478.3	205.4	420.3
少数株主持分	31.0	-	6.0	-
純資産	151.4	471.0	194.3	403.2
総資産	1,374.5	1,626.9	1,215.9	1,424.5
純有利子負債/純資産比率	256.6%	102.6%	189.8%	93.4%

* アッカ社は9/1/2008より連結対象。

イー・アクセス単体及び アッカ財務実績

2009年3月期第3四半期(累計)単体実績

単体売上高及び営業利益は前年同期比増収増益
通期予想を上回るペースで業績は進捗

(単位:億円)	2008年3月期	2009年3月期			
	第3四半期 (累計) (4~12/2007)	第3四半期 (累計) (4~12/2008)	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	441.4	610.2	+ 38.2%	800.0	76.3%
営業利益 ^{*2}	79.8	109.5	+ 37.2%	128.0	85.5%
経常利益 ^{*2}	67.5	101.0	+ 49.6%	110.0	91.8%
当期純利益 ^{*1*2}	61.0	57.2	△6.2%	66.0	86.7%
EBITDA	135.4	148.6	+ 9.7 %	192.0	77.4%
設備投資額	36.8	26.9	△26.9%	48.0	56.0%
減価償却額 ^{*2}	55.6	39.0	△ 29.9%	64.0	60.9%

*1 2008年3月期第1四半期の単体当期純利益にイー・モバイル株式売却益の35.0億円を含む。

*2 アッカとの統合により、設備の状況や環境の変化等に伴い利用可能予測期間を調査した結果、2008年9月より機械設備の耐用年数を従来の3~5年から6年に変更。

アッカ 2008年12月期実績 (連結)

統合によるシナジー効果が順調に現れ、営業利益及び経常利益は通期予想を大幅に上回る
 営業利益は前年同期比30.7%増、経常利益は前年同期比34.6%増加

(単位:億円)	2007年12月期	2008年12月期			特別損失について
	通期実績 (1~12/2007)	通期実績 (1~12/2008)	通期予想 (1~12/2008)	達成率	
売上高	350.8	299.8	310.0	96.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・親子会社間の会計方針の整合性をとるための会計方針変更及び不採算事業のリストラクチャリング費用を計上 ・営業利益の増加と税効果の影響によりほぼ相殺され、当期純利益は前回予想通り
営業利益	19.9	26.0	20.0	130.0%	
経常利益	19.1	25.7	20.0	128.4%	
特別損失	5.5	35.8			
法人税等調整額	△0.4	△26.6			
当期純利益	14.8	17.0	17.0	100.2%	<p>イー・アクセス連結への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イー・アクセスでは9月連結時より既に会計方針の相違を考慮済み(のれん処理)のため、連結業績への影響は軽微
修正EBITDA*	87.2	72.3			
設備投資額	20.3	18.1			
減価償却額	19.3	21.0			

*.修正EBITDA:営業利益 + 減価償却費 + 支払リース料

アッカ バランスシートの状況

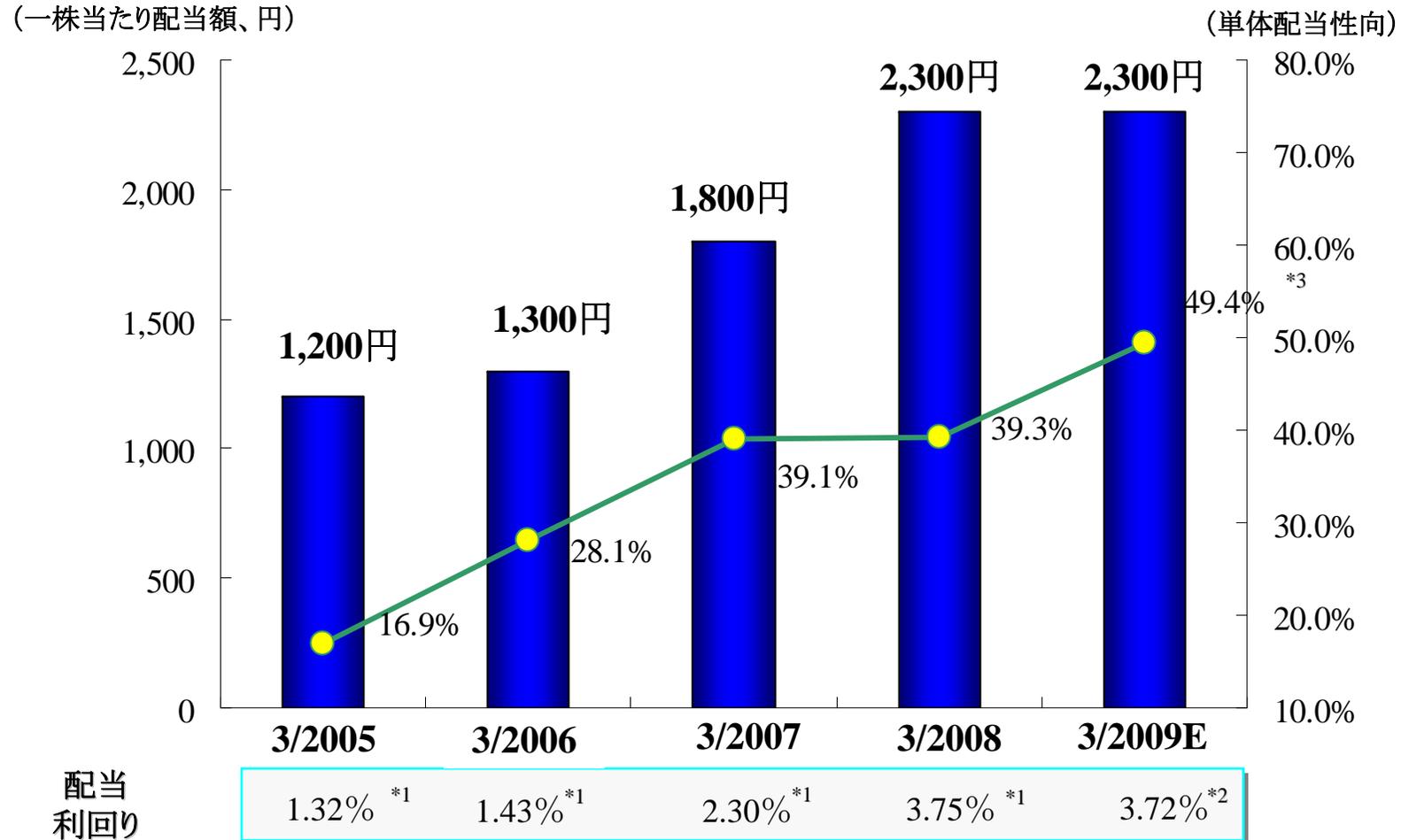
12月末現在はネットキャッシュポジションで、現預金残高は115億円

	2008年12月末	2007年12月末
(単位:億円)		
現金及び現金同等物	114.9	93.4
有利子負債 ^(*)	55.4	89.3
純有利子負債	△59.5	△4.1
株主資本	244.5	180.6
純資産	244.5	180.6
総資産	320.4	291.4
純有利子負債/株主資本比率	△24.3%	△2.2%

(* リース残高を含む)

株主還元

第3四半期配当は予想通り1株あたり575円の配当を実施予定
2009年3月期における単体配当性向は変更なく引き続き約50%を見込む



*1 各年度末の株価をベースに算出。

*2 2009年2月10日株価61,900円をベースに計算。

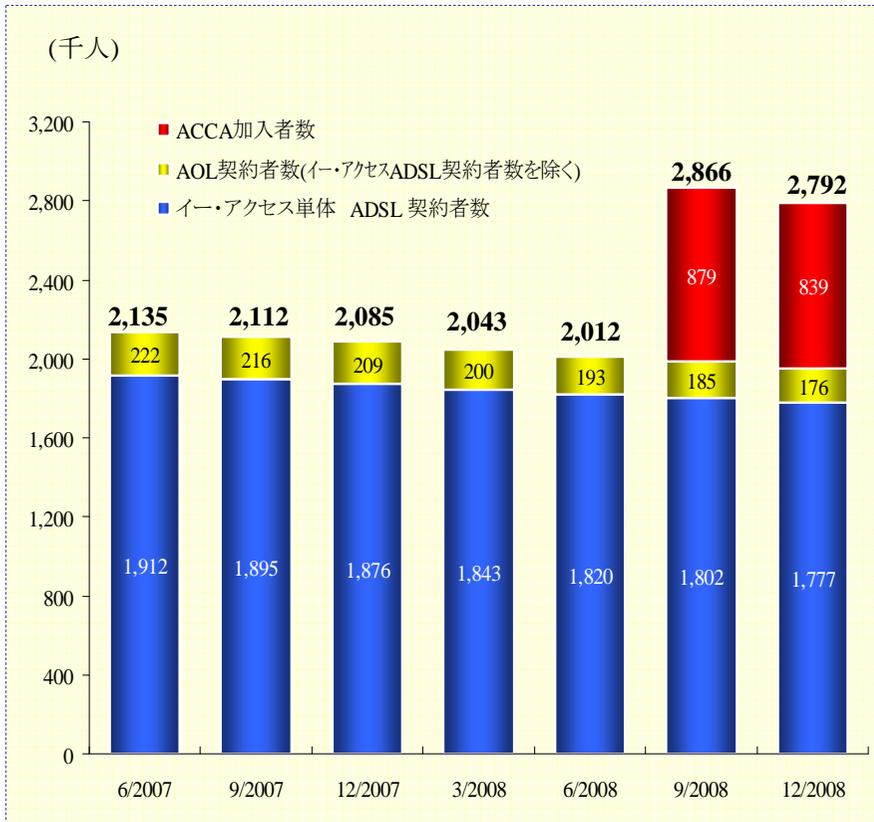
*3 2008年8月12日発表の通期業績予想に基づく。

イー・アクセス単体及びアツカの 事業の状況

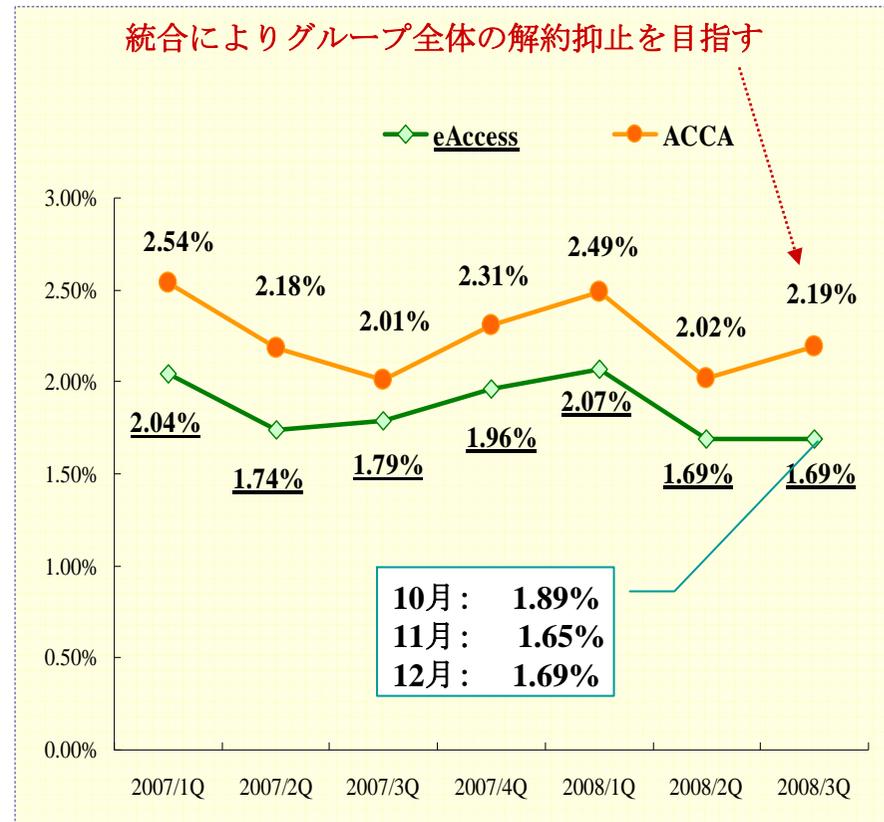
契約数及び解約率の推移

連結のADSL/ISP累計契約数は279万契約で、ADSLマーケットシェアは22%に上昇
3Q単体平均解約率は1.69%で前年同期を0.1ポイント下回る

連結のADSL/ISP契約数推移

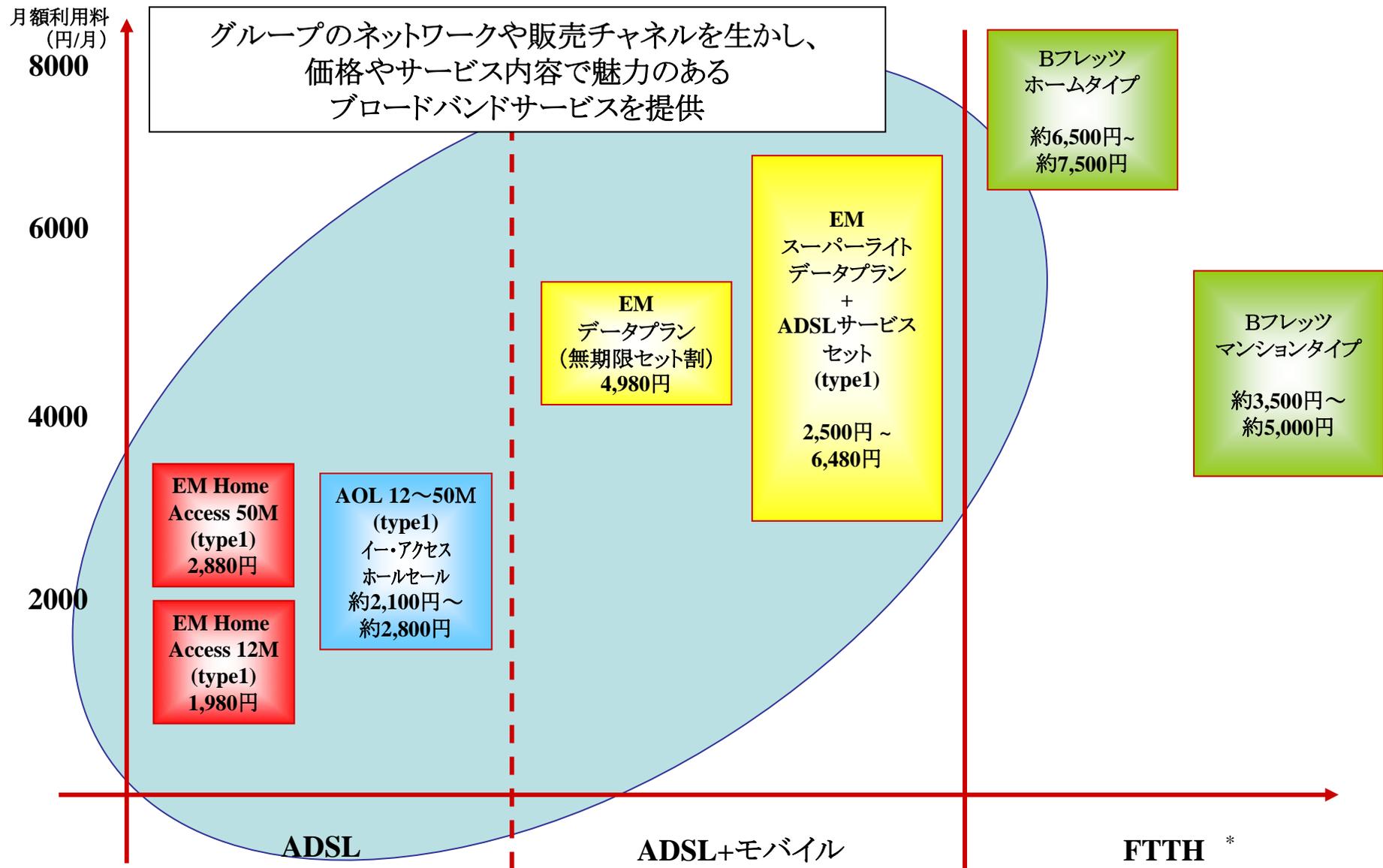


平均解約率の推移



・ アッカの会計年度をイー・アクセスに合わせて比較。

競争力のあるサービスプラン



* 2/12/2009現在。大手ISPのサービス料金の平均値を基に算出。月額使用料はISP料金及び回線終端装置利用料を含む。

I. 2009年3月期第3四半期(累計)決算の総括 3 ページ

II. イー・アクセス/子会社アッカ・ネットワークス 5 ページ

➤ 決算の詳細 6 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

III. イー・モバイル 21 ページ

➤ 決算の詳細 22 ページ

➤ 事業の状況 25 ページ

IV. Appendix 30 ページ

契約者数

- 2009年1月末時点の累計契約者数は**1,191,800**
- 第3四半期の純増数は**308,400**件で**過去最高。純増シェア第2位**
- 第3四半期の平均解約率は**約1%**

エリア

- 2008年12月末時点の自網での人口カバー率は**約89%**
- 地方都市において地下街・地下鉄のエリアカバーを開始
東京・大阪においても**2009年**に地下街・地下鉄のカバーを拡大予定

マーケティング

- ネットブック市場が急拡大し、販売台数が順調に**増加**
- 基本使用料**780円**でイー・モバイル**どうし24時間通話料無料**の「がっちりコース ケータイ定額プラン」を導入
- ソフトバンクモバイルとの協業を発表。ソフトバンクが**EMOBILE**のMVNOとして定額制データ通信を**2009年3月**より提供開始予定

加入者数増及び売上増は更に加速
EBITDAを始め、当期純損失幅も縮小

(単位:億円)	2008年3月期 第1四半期	2008年3月期 第2四半期	2008年3月期 第3四半期	2008年3月期 第4四半期	2009年3月期 第1四半期	2009年3月期 第2四半期	2009年3月期 第3四半期
売上高	22.4	29.3	36.9	56.4	106.8	129.3	172.9
営業損失	△66.1	△72.2	△88.3	△155.5	△103.8	△101.2	△87.6
経常損失	△78.2	△78.7	△95.9	△166.8	△116.5	△118.5	△107.0
当期損失	△78.2	△78.7	△96.1	△167.2	△116.7	△118.9	△107.1
EBITDA損失	△50.5	△50.0	△60.5	△114.9	△61.8	△57.1	△40.3
設備投資額	161.9	202.3	165.9	452.0	66.7	100.3	93.7
減価償却費	15.5	22.3	27.8	40.6	41.9	44.1	47.4
累計契約数	60,200	122,300	205,900	411,500	603,100	811,700	1,120,100
四半期純増数	+ 50,700	+ 62,100	+ 83,600	+ 205,600	+ 191,600	+ 208,600	+ 308,400

イー・モバイルバランスシートの状況

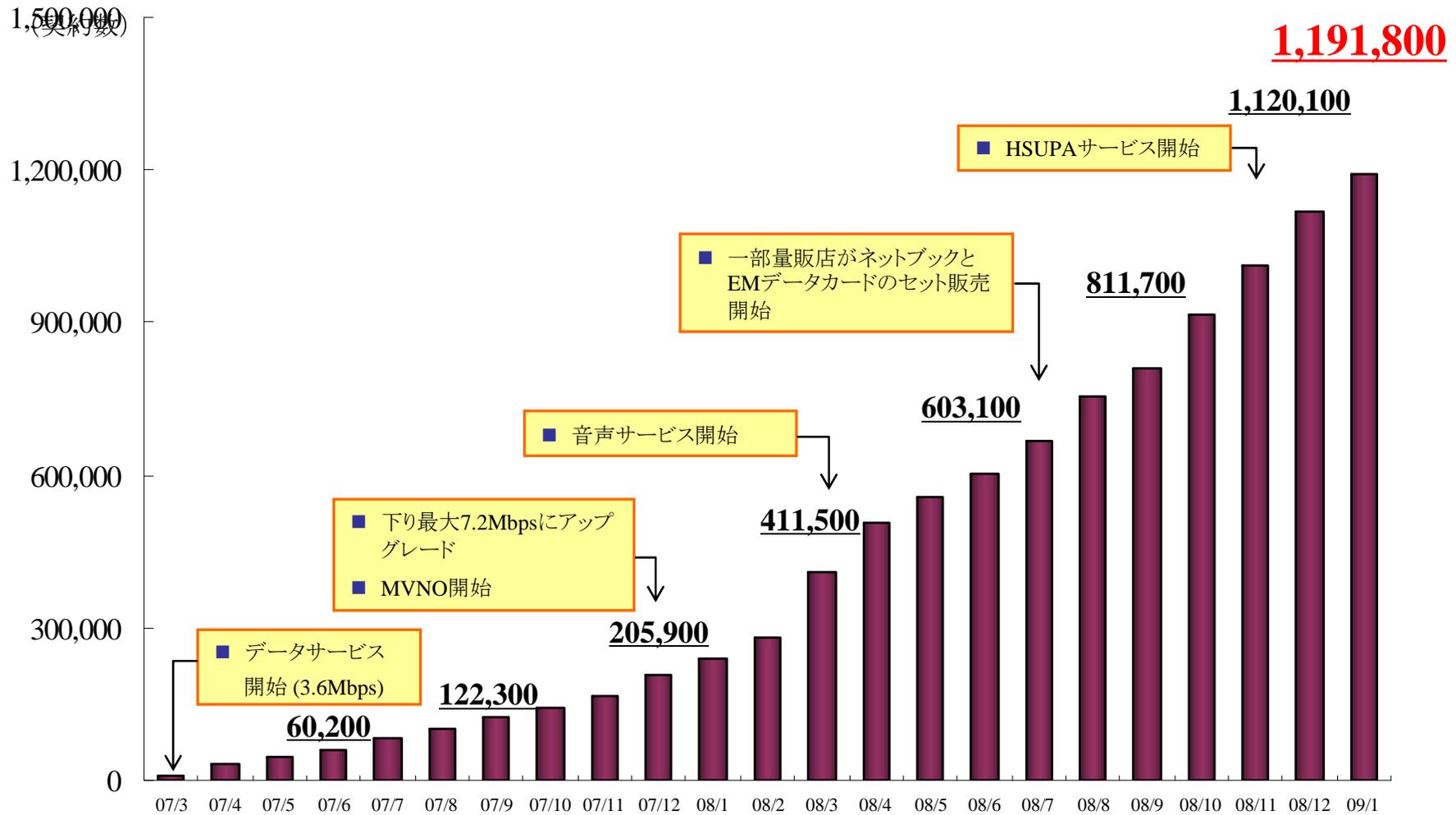
12月末時点の現預金残高は約**944**億円
300億円の未使用コミットメント枠を確保

	2008年3月末	2008年6月末	2008年9月末	2008年12月末	
(単位:億円)					
現金及び現金同等物	937.4	1,121.3	816.2	943.8	+ 未使用コミットメント枠 300億円
有利子負債	1,067.9	1,756.6	1,745.3	2,133.1	
純有利子負債	130.5	635.3	929.1	1,189.2	
株主資本合計	863.9	747.1	628.2	521.1	
総資産	2,503.0	2,759.9	2,601.5	2,893.7	
純有利子負債/株主資本比率	15.1%	85.0%	147.9%	228.2%	

イー・モバイル 事業の状況

契約者数推移

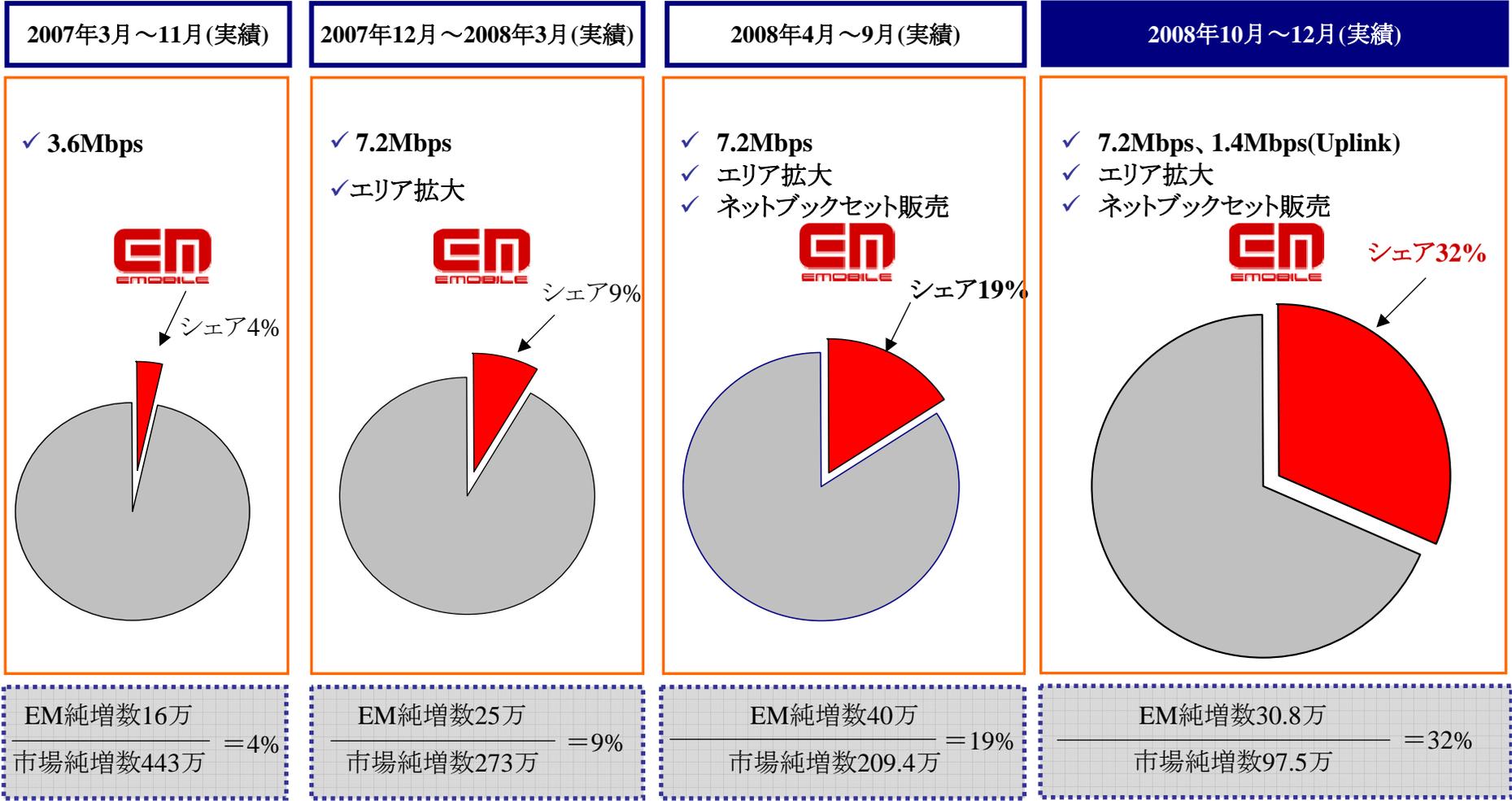
データカードによる獲得は引き続き好調で、2009年1月現在の累計契約数は **1,191,800**
3Q純増数は過去最高



(出所:電気通信事業者協会)

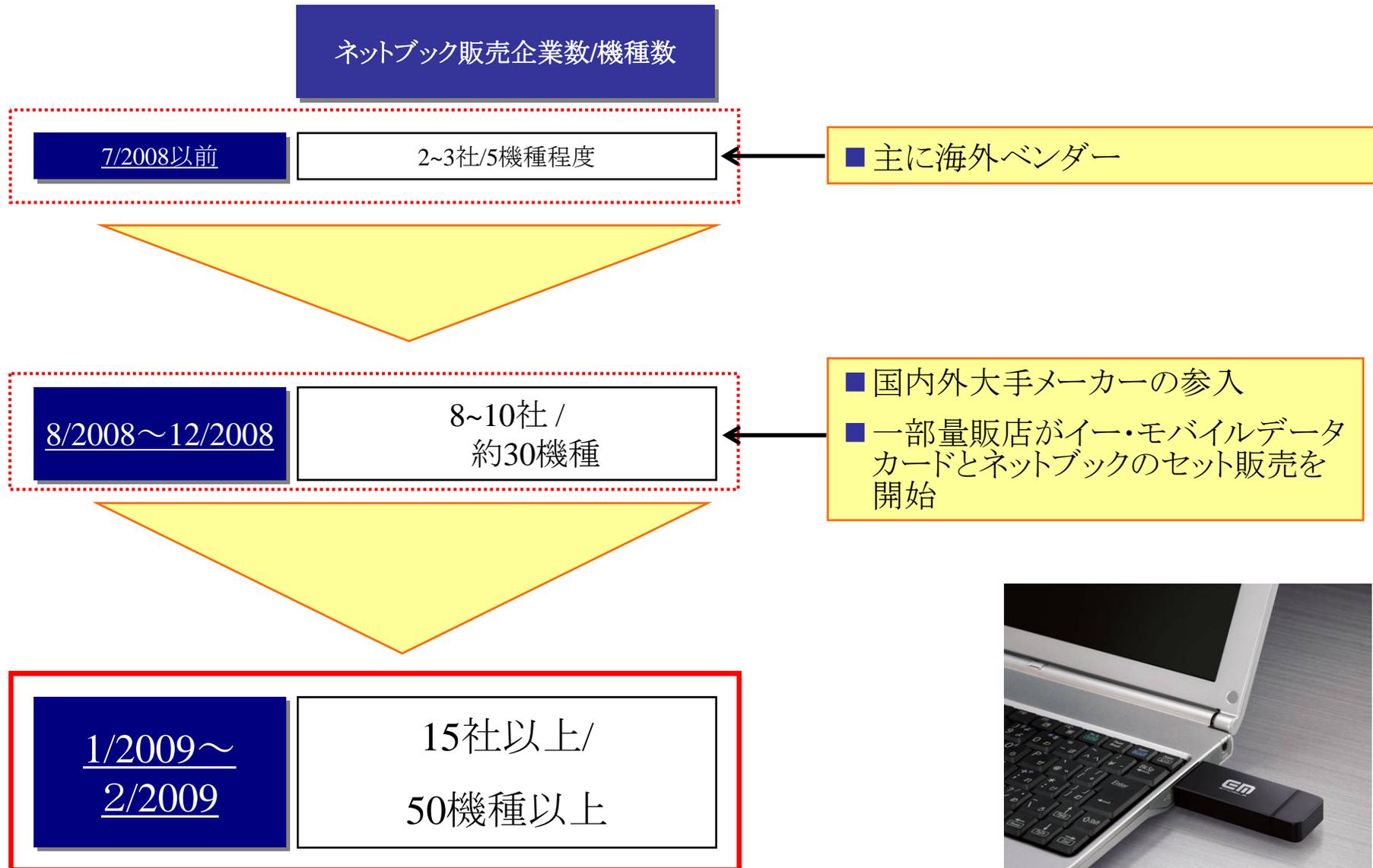
純増シェアの拡大

市場の純増数に対するシェアは着実に拡大し、
3Qの純増シェアは約32%



(出所:電気通信事業者協会)

拡大するネットブック市場



新音声プラン

基本料金780円でEMOBILEどうし24時間通話料無料の「がっちりコース ケータイ定額プラン」を導入

	音声基本料金		データ定額オプション
EMOBILE	780円/月 (21円/30秒)	EMOBILE間 通話無料	1,000-4,980円 (0.084円/1 パケット) PCへの接続を含む
A社	980円/月 (21円/30 秒)	家族間のみ通話無料	1,029-5,985円 (0.084円/1 パケット) PCへの接続除く
B社	980円/月 (21円/30 秒)	家族間のみ通話無料	1,050-5,985円 (0.084円/1 パケット) PCへの接続除く
C社	980円/月 (21円/30 秒)	C社間通話無料 (21:00～25:00は除く)	1,029-5,985円 (0.084円/1 パケット) PCへの接続除く

注: EMOBILE間の通話でも通話料が発生する場合があります。詳しくは <<http://www.emobile.jp/cgi-bin/press.cgi?id=618>>を参照ください

I. 2009年3月期第3四半期(累計)決算の総括 3 ページ

II. イー・アクセス/子会社アッカ・ネットワークス 5 ページ

➤ 決算の詳細 6 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

III. イー・モバイル 21 ページ

➤ 決算の詳細 22 ページ

➤ 事業の状況 25 ページ

IV. Appendix 30 ページ

2009年3月期第3四半期(累計) (4-12/2008)				
(単位:億円)	ネットワーク 事業*	デバイス 事業	EM等持分法	連結
売上高	479.9	224.2		704.1
営業利益	114.0	8.1		121.9
経常利益(損失)	108.1		△133.8	△25.7
当期純利益(損失)	55.3			△78.5
EBITDA	166.1	8.5		174.4
設備投資額	35.4	0.1		35.5
減価償却費	52.1	0.4		52.5

* ネットワーク事業: ADSL事業、ISP事業、MVNO事業、伝送事業、アッカ

* アッカ社は9/1/2008より連結対象になり、ネットワーク事業に含まれる。

アッカとの合併スキーム (予定)

統合が順調に進み、完全な経営統合による事業収益性の更なる向上を目指し
6月末を目処にしたアッカとの株式交換による合併を発表

公開買付(TOB)の結果
(11/2008)

120,000円でアッカ株式を74,852株追加取得。
12/2008現在イー・アクセスのアッカ株式保有率は88.91%(議決権ベース)。

合併の概要
(予定)

- ◆ 6月末の合併を予定
- ◆ 合併の詳細

1. イー・アクセスを存続会社とする吸収合併方式
2. 効力発生日(6/25/2009)前日のアッカ株主に対し、下記の合併比率に基づきイー・アクセス普通株式を割当。

$$\text{合併比率} = \frac{120,000 \text{円}}{\text{イー・アクセス普通株式の平均株価}} \\ \text{(5月25日～6月5日まで各取引日のイー・アクセス普通株式の売買高加重平均値の単純平均値)}$$

3. イー・アクセス及びアッカ以外の株主が
保有するアッカ株式数: **19,147株**
4. 2008年12月末期末配当(1株当たり3,750円)を実施予定
5. アッカ定時株主総会(3/27/2009開催予定)にて合併が承認された場合、アッカはJASDAQの上場
廃止基準に伴い、6/19/2009に上場廃止予定

(2/12/2009現在)

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。